

令和4年度 第2回 気田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月6日（水） 15時15分から16時30分まで
- 2 開催場所 気田小学校 会議室
- 3 出席委員 山崎 陽康、井口 哲秀、栗島 栄市、森下 薫、福島 亜弥、清水 恭子、岩本 祐美子
- 4 欠席委員 山下 太一郎
- 5 オブザーバー 佐々木 徹（春野協働センター）
- 6 学 校 堀部 憲一（校長）、小澤 真喜子（教頭）、森下 裕子（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし

8 協議事項

- (1) 学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて・ふるさとキャリア教育に向けて学校・地域で取り組めること
- (2) 子供が地域へ元気を届けるためにできること
- (3) 150周年にむけて

9 会議録作成者 森下 裕子（CS ディレクター）

10 会議記録

司会の 小澤 真喜子 から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、森下委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

- (1) 学校経営方針ビジョン実現のための、学校運営協議会としての手立てについて・ふるさとキャリア教育に向けて学校・地域で取り組めること

校長より、ふるさとキャリア教育実現に向けて、人口減少がある中、学校が地域に手助けできることはないか。子供達が地域へ恩返しをすることで子供に地域の一員であると感じさせたいと思う。また、地域の体験活動を子供達はあたりまえと思っているが、こんなに良い体験活動ができていること、春野の良さを子供たちに実感させたいが、どのようにしたらいいか意見を聞きたい。

・外の人の意見を聞くと視点が違うことに気が付くことがある。委員は地元の人なので外の学校から来た先生が地域を見て回って、第一印象を聞くのはどうか。（山崎委員）

・コーディネーター交流会に出て街の行事と田舎の行事のいいところがそれぞれあり、お互いいいなと思っているところがある。今後はどうやればここでできるか落とし込んでいきたい。（森下委員）

・以前、海の子と交流をやったことがあるからやってみてもいいのではないか。また、先日の校外学習で出会った気田の子供達の声が大きくて素晴らしいと思った。
(栗島委員)

今後、先生方に春野の印象を聞くこと、委員も今後、保護者を含め外の人に話を聞いて情報収集していくことを確認した。

(2) 子供が地域へ元気を届けるためにできること

校長より、地域とともにある学校のために、地域から支援をもらうだけでなく、今後は地域へお返ししていきたいと思っている。今後はどんどん学校の外に出て地域貢献をさせたいが、どんなことができるか意見をいただきたい。できそうなことを来年度の教育課程に組み込みたいと思っている。

・社会福祉協議会で子供が老人宅へお弁当を届ける活動がある。子供が届けると喜んでくれるし、子供も家を覚えたり人と繋がれたりの良い面がある。しかし、活動が休日である。(福島委員)

・コロナで受け入れが難しいかもしれないが、老人施設で歌を歌ったりするのはどうか。リモートも考えてみてはどうか。(森下委員)

今後、いろんな人に聞いて、先生の負担にならない範囲でできることを検討してはどうかということで意見が一致した。

(3) 150周年にむけて

校長より、150周年の運営委員を学校運営協議会の委員とPTAで立ち上げたいと思うので協力をお願いしたいという発言があり、全員承諾した。

その他連絡事項等

司会から、今後の会議の日程について報告があった。

第3回 令和4年10月17日(月) 15時20分～

第4回 令和5年 2月24日(金) 14時30分～

第4回には自己評価をお願いする旨の説明があった。